

## 令和3年4月定例教育委員会会議

- 開催日時 令和3年4月22日(木)  
午後1時30分～午後2時14分
- 開催場所 鹿嶋市役所 3階 会議室301
- 出席委員 教育長 川村 等  
教育長職務代理者 岡見 文彦  
委員 原 キミ  
委員 大槻 啓子  
委員 大崎 千帆
- 事務局出席者 教育委員会事務局部長 大須賀規幸  
教育委員会事務局次長 君和田浩幸  
教育指導担当参事兼課長 坂上 彰弘  
総務就学課長 久保美由紀  
幼児教育課長 村山 久江  
教育センター所長 札 敏夫  
教育施設課長 野田 秀志  
社会教育課長 吉井 聡  
スポーツ推進課長 野口 浩二  
中央図書館長 飯塚 貴子  
中央公民館長 増田由紀子  
学校給食センター所長 笠掛 志保  
総務就学課長補佐 平山麻由美  
総務就学課主幹 石毛 千遥
- 議 事
  - 1 議 案
    - 公 開 議案第14号 鹿嶋市奨学生選考審査会委員の人事について (総務就学課)
    - 公 開 議案第15号 鹿嶋市特別支援教育推進会議の人事について (教育指導課)
    - 公 開 議案第16号 令和3年度鹿嶋市奨学生の決定について (総務就学課)
    - 公 開 報告第 6号 園医等の人事について (幼児教育課)
    - 公 開 報告第 7号 鹿嶋市教育支援委員会委員の人事について (総務就学課)
    - 公 開 報告第 8号 叙位の内申の専決について (総務就学課)

2 協議・報告事項

- ・(仮称)鹿嶋市歴史資料館建設検討委員会委員候補(案)について

(社会教育課)

3 その他

- ・教育委員会関係日程

○ 会議録

1 開 会

教育長から開会が宣言された。

2 議事録署名人の氏名

原委員が指名された。

3 議 案

議案第14号

(総務就学課)

鹿嶋市奨学生選考審査会委員の人事について

委員の人事異動に伴い、委員2名を解き、その後任として委員2名を新たに任命するもの。

【主な質疑・意見等】

特になし

※議案第14号については、原案どおり可決された。

議案第15号

(教育指導課)

鹿嶋市特別支援教育推進会議委員の人事について

委員の人事異動に伴い、委員4名を解き、その後任として委員4名を新たに任命するもの。

【主な質疑・意見等】

委員

特別支援教育というと知的障害や身体障害のイメージがあるが、最近だと情緒障害や発達障害が多くなっていると聞いている。学校の特別支援学級に通っている子どもは、情緒障害や発達障害が多いのか。

教育指導課

学校にもよるが、知的障害がある児童生徒と、発達障害の自閉・情緒がある児童生徒がおり、鹿嶋市として学級数、生徒数が少しずつ増加の傾向にある。それは障害があるというよりも特別支援教育の充実を図るため、早目にケアができるような体制が整ってきていると捉えている。

委員

担任される先生は、特別支援教育の勉強や研修をされてきた方なのか。

教育指導課

ここに任命した方々は、特別支援教育のコーディネーターで、各校において中心となって特別支援教育を進め

ている先生である。学級を担当しているすべての先生が、特別支援教育を勉強してきた訳ではないが、県、鹿行教育事務所や市でも研修を行っている。

委員 鹿嶋市特別支援教育推進会議の委員は全員で何人か。

教育指導課 16名である。

※議案第15号については、原案どおり可決された。

議案第16号 令和3年度鹿嶋市奨学生の決定について  
(総務就学課) 令和3年度の鹿嶋市高塚奨学金の奨学生を決定するもの。

【主な質疑・意見等】  
特になし

※議案第16号については、原案どおり可決された。

報告第6号 園医等の人事について  
(幼児教育課) 願により学校医等を解き、新たに委嘱するもの。

【主な質疑・意見等】  
特になし

※報告第6号については、原案どおり承認された。

報告第7号 鹿嶋市教育支援委員会委員の人事について  
(教育指導課) 委員の人事異動に伴い、委員1名を解き、その後任として委員1名を新たに任命するもの。

【主な質疑・意見等】

委員 委員は全員で何名か。またどのような方々が委嘱任命されているのか。

教育指導課 17名で、学識経験者、特別支援教育学級の先生、学校長や教頭などの学校代表者、幼児教育や生涯学習担当の職員、医師がメンバーとなっている。

※報告第7号については、原案どおり承認された。

報告第8号 叙位の内申の専決について  
(総務就学課) 公立学校長として退職した者が死亡した場合、叙位・叙勲が受けられるもの。

【主な質疑・意見等】

特になし

※報告第8号については、原案どおり承認された。

#### 4 協議・報告

- ・(仮称) 鹿嶋市歴史資料館建設検討委員会委員候補(案)について

##### 【主な質疑・意見等】

- |       |   |
|-------|---|
| 委員    | 委員の選任についてはある程度、具体的に決まっているのか。  |
| 社会教育課 | 水面下では動いており、今後、了承を得て、正式に委嘱任命をする。   |
| 委員    | 委員会は、いつまでに何回の開催を予定しているのか。   |
| 社会教育課 | 現段階で開催回数は未定である。建物と展示をどのようなコンセプトにするのかということは、実際に建築が始まってからも、委員の方々に意見をいただかなくてはならないと考えている。   |
| 委員    | 設計の発注は今年度を予定しているのか。   |
| 社会教育課 | 予定では6月の終わりまでに設計委託の発注をしたいと考えている。   |
| 部長    | これから1か月以内に第1回目の会議を開く必要がある。6月下旬から設計の委託に入り、9月中旬くらいまでには、検討委員会でコンセプト等をまとめ上げるようにスケジュールを考えている。その後、進めていく中で、協議しなければならないことが出てくると予想されるので、開催回数については限定することなく、複数回開催することを考えている。 |
| 委員    | 私はふるさとボランティアガイドの一員で、ガイドの方々の中には非常に歴史に造詣が深い方がいらっしゃる。そのような方はメンバーに入っているのか。鹿嶋市観光協会で観光関係の方というと、協会の役員や職員が委員となるのか。  |
| 社会教育課 | 観光協会が入っている理由として歴史資料館が中心市街地活性化を進めるために与えられた役割の一つであって、歴史的な教育や市民の郷土愛の醸成を担う以外  |

に、沢山の人にレポートしてもらい、楽しんでいただくという要素も求められている。そのため、エンターテイメント性や、観光客の誘致という部分である程度、知見を持っている観光協会から推薦をいただいた方を委員の中に入れていく。

#### 委員

今朝の新聞で、鹿嶋古文書学習会が素晴らしい実績をまとめられたということで大きく取り上げられていた。また、どきどきセンターでは漫画を通して子ども達に鹿嶋のことをわかってもらうような発信をされていて、鹿嶋市の歴史に関する取り組みを対外的にも発信されており、内容的に難しいものでも、新聞などで発信していただくとう理解が深まり、努力されているところが見えた。

委嘱される委員のほとんどは市内の関係者で茨城県立歴史館は県の方に入っていただくということだが、この埋蔵文化財関係は市内の学識経験者なのか。

#### 社会教育課

市内の方という訳ではなく、埋蔵文化財関係の団体に相談させていただき、ご推薦をいただく方式をとる。その中で、市外の方をご推薦いただき、了承を得られれば、委員になっていただくことになる。

#### 5 その他

- ・日程について

#### 6 閉会

教育長から閉会が宣言された。